発行日　２０２６年１１月１日
中村健税理士事務所＆㈱中村経営情報センター
編集：監査部２課

中村会計だより　冬号

FXクラウドシリーズへの切り替えのお願い
～AI機能「FXエージェント」が仕訳入力を変える～

１．従来のスタンドアロン版ＦＸシリーズは 2030 年まで

スタンドアロン版ＦＸシリーズは、会計データをパソコンに保管する従来型の会計システムです。パソコンが故障するとデータを失い、再入力が必要になる場合もあるため、TISC バックアップサービスや USB メモリなどでバックアップを取っていただいています。

このスタンドアロン版ＦＸシリーズは、現在、主流の「クラウド版 FX シリーズ」への移行に向け、機能強化を目的としたレベルアップはすでに終了しています。今後は消費税率改正などの制度改正への対応のみとなり、新規受注も本年 12 月で終了します。
さらに 4 年後の 2030 年 12 月にはサポートが終了し、ご利用いただけなくなります。



２．クラウド版 FX シリーズとは？



「クラウド版 FX シリーズ」は、会計データをパソコンに保管せず、ブラウザ（Edge、Chrome など）を通じて入力した会計データを TKC のサーバー（以下、TISC）に保管します。

クラウドのメリット
① パソコンの故障によるデータ損失を防げます。TISC は東日本大震災でも無傷でした。
② レベルアップ作業は不要で、常に最新版を利用できます。
③ 複数のパソコンから、複数人で同時入力できます。

クラウド版のため、インターネット環境が必須となります。また TISC への会計データ保管料など、スタンドアロンより一定の費用が掛かります。

３．クラウド版に AI が!?　～FX エージェントについて～

突然ですがクイズです！

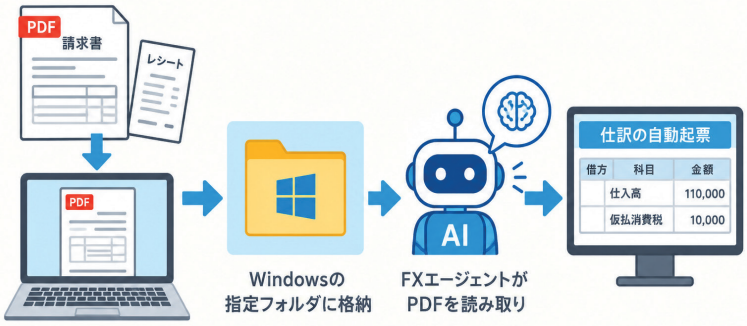
皆さまが入力している月次仕訳のうち、過去のパターンから「ほぼ確実に」正しい仕訳が決まるのは何割でしょう？

A．３割　　B．５割　　C．７割

【答え】…パターンで確定する仕訳は「**約７割**」です。

TKC は来年 1 月（※予定）から、FX クラウドシリーズに「FX エージェント」という AI を順次導入し、過去の確定済み仕訳パターンを参照して、仕訳入力を自動化します。このほかにも AI でできることがあります。

FX エージェントの主な機能は次の３つです。



① 証憑からの仕訳計上
生成された仕訳は、関与先の皆様に確認いただき、中村会計の監査後に本計上します。また、あらかじめ設定した日時に、自動処理することも可能です。

② 経理・仕訳に関する一般的な質問への回答
経理実務や仕訳に関する質問に対して、『TKC 会計処理マニュアル』（TKC 出版発行）を検索し、回答します。回答に表示された仕訳は、仕訳入力画面に転記して入力できます。

③ 業務判断を支援するフリーチャット機能
業務判断や業績の要約などを支援します。システム内のデータを参照し、「今日の預金残高は？」「直近の A 社の請求金額は？」「今月訪問したほうがよい得意先は？」などの質問に、チャット形式で回答します。

AI を活用して、会計業務を効率化するチャンスです。ぜひ早期導入をご検討ください。

4.「FX エージェント」のセキュリティについて

AI による情報漏洩を心配される方も多いと思います。「FX エージェント」はクラウド版 FX シリーズ内で動作し、関与先データを保護する仕組みとなっています。ChatGPT などの外部 AI に接続して外部データを使用するのではなく、TKC 出版などの税務･法務に関する限られた内部情報をもとに判断するため、外部に情報が漏れない仕組みとなっています。



5. クラウド版 FX シリーズへの早期切替のお願い

スタンドアロン版 FX シリーズをご利用の皆様におかれましては、2030 年のサポート終了を待つことなく、クラウド版 FX シリーズへの早期切り替えをご検討ください。

クラウド版 FX シリーズと AI 機能「FX エージェント」を活用することで、日々の仕訳入力など会計業務の効率化が期待できます。

私たち中村会計も、安心して導入・活用できるよう、全力でサポートしてまいります。会計業務のさらなる効率化に向けて、ぜひお早めにご相談ください。